

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立小串小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校, 各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒702-8016
岡山県岡山市南区小串 3379
E-mail kogusis@city-okayama.ed.jp
Website http://www.city-okayama.ed.jp/~kogusis/
幼児児童生徒数 男子 11 名 女子 16 名 合計 27 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

岡山市立小串小学校では、小串地域の自然、産業、史跡等を、各学年 (3 学級すべて複式学級) の実態や学習課題に即して実地調査 (学区探検) を中心とした探求活動を展開し、海と共生してきた小串地区の特色に目を向け、地域を愛し、地域と生きる児童の育成に取り組んだ。

具体的には、「見つめ直そう私たちの小串」を柱に、①地域の自然や人、歴史に関わる内容、②海をきれいにする活動、③海を豊かにする活動に関する学習を行った。

① 地域の自然や人、歴史に係わる活動

1・2 年生では、地域で主に栽培されている農作物を見学したり、農作業を体験させてもらったりする活動を通して、地域の自然 (農業) やそれに取り組む人々とのふれあいを深めた。

3・4 年生では、近隣の海岸や漁港での生き物調査や学校林の植生調査、地域の方々への聞き取りなどの活動を通して、地域の自然の豊かさや地域の発展などの歴史への知見を深めた。

5・6 年生では、地域漁業関係者から地域の海の魅力や課題を聞き取ったり、地域特産であるママカリ釣りを体験するなどの活動を通して、海洋環境保全や地域産業について考察した。

② 海をきれいにする活動

地域漁業関係者を中心とした「海面アダプト活動（海面清掃活動）」へ参加し、地域の海洋環境の実態や環境保全に取り組む人々の思いや願いを学習した。また、児童らの居住地付近の海岸清掃活動に取り組み、自分たちにできる環境保全の取り組みについて考察した。

③ 海を豊かにする活動

アマモの花枝の選別から始まり、自分たちが播種・育成したアマモの苗を地元の海（相引海岸）に戻すという「豊かな海の再生」に関する象徴的な取り組みを行うことで、自分たちの手で小串の海を再生していこうとする態度を培うことができた。

それぞれの活動で専門家や地域漁業関係者の考えを聞き取る活動を充実させたり、他教科学習内容と関連させたりすることで、活動したことを関連づけ、学びを深めることができた。活動成果については、校内外での報告会へ参加することで、学んだことを広めることへも取り組んだ。

体験活動を学校と地域が連携・協力して行うことで、児童がより地域への関心を深めることができた。また、様々な取り組みをE S Dという視点で結びつけて考えられるようになってきた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解, 文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化, 文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的, 総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他(郷土を愛する心情)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍, ウェブサイト, パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

ESD関連学習は、総合的な学習の時間および生活科の学習内容と関連づけてカリキュラムを構成している。学習内容を「自分」「地域」「世界」といった視点で系統化し、各学年に位置づけることで6年間を通して学びの高まる教育課程編成を立案している。

また、本校は少人数のため各学年が複式学級となっている。このことから、児童らは2年間のサイクルで「教えてもらう立場」と「教える立場」に立ちながら同じ学習内容に取り組むことになる。このことは、学習活動を児童の主体的な考えに基づいて進める上で効果を発揮している。

各活動の学習内容や学習成果については、専門家や外部発表会、地域漁業関係者への発表などを通して評価をいただき、よりよい活動や新たな視点での単元開発につなげるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

本校の学校教育基本計画には、指導の重点の柱として「ESDの推進」が位置づけられている。このことにより、ESD諸学習が教育課程全般と関連付くよう計画している。また、各教職員の指導内容・業務内容とESD諸学習活動との関連を図り、全教職員がESD推進活動へ参加・参画できるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

岡山市が行う「教育に関する総合評価」の取り組みによりにより、児童、教職員、保護者、地域の方々へのアンケート調査を行っている。アンケート結果からは、ESDを通して小串のことを大切にしようと思う児童やESDによって総合的な学力が高まっていると感じている保護者の割合が非常に高まっていることがうかがえる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

岡山子どもESDフォーラムでの発表や地域公民館でのパネル展示では、広く大勢の方々への発信ができた。また、他学校等の取り組みから触発されたり、質問を受けることで取り組みを振り返ったりすることができ、学習内容への新たな視点を得ることができていた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域漁業協同組合や大学教員との連携による「アマモ再生活動」、県北小学校との協働による「森と海の交流活動」に取り組んだ。様々な立場でESD活動に関わる人々との交流を通して、持続可能な社会のあり方についての考えを広げることができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

近隣ユネスコスクール(小学校、中学校)との連携による「海をきれいにする活動」に取り組んだ。今後、瀬戸内海沿岸や旭川河川上流部などの環境保全に取り組んでいる交流相手校との新たな連携を計画している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒，教員，カリキュラム・教授法，学校経営，地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

岡山市が行う「教育に関する総合評価」の取り組みにより，児童，教職員，保護者，地域の方々へのアンケート調査を行っている。アンケート結果からは，本校がESD諸活動に積極的に取り組んでいることを高く評価していることがわかる。特に，様々な立場の人々との関わりによって思考力・判断力が高まり，コミュニケーション能力が伸長したと感じている様子が顕著にうかがえる。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本年度に引き続き，「見つめ直そう私たちの小串」を柱に，①地域の自然や人，歴史に関わる内容，②海をきれいにする活動，③海を豊かにする活動に取り組む。

1・2年生では，身近な人々の生活や仕事から，地域の特質にふれ，そのよさを味わう活動を充実する。

「おいも名人とサツマイモを作ろう」「畑仕事をやってみよう」など

3・4年生では，地域の自然や施設等の調査活動をもとに，地域の特質を理解し，そのよさへの知見を深める活動を充実する。

「小串地域を探検しよう」「小串の海で遊ぼう」など

5・6年生では，地域漁業関係者が取り組んでいる海洋環境保全活動へ参加し，地域から地球規模の環境問題へと目を向け，地域でできる貢献活動に取り組む活動を充実する。

「アマモ再生活動」「海面アダプト活動」「海岸清掃活動」など